

2022 年度 自己点検・評価報告書

研究所評価分科会

(平和問題研究所)

2023 年 2 月

基準9 社会連携・社会貢献

- ・ 社会連携・社会貢献および研究所の方針、理念・目的に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。

【1】2021年度の自己点検・評価で課題となった事項

1. センターの活動内容
 - 予定した平和講座やその他の行事は予定通り遂行されており、特段の課題はない。
2. センター員の活動内容
 - 各員が学術論文等を発表するとともに科研費をはじめ外部研究資金を獲得している所員も多く、特段の課題はない
3. 開催行事 以下の諸行事を滞りなく開催した
 - UPRI 連続セミナー「SDGs の促進と核兵器禁止条約—核兵器禁止条約締約国会議に向けての課題」
 - Peace Forum 2021 “Building a Better East Asian World Order in the Aftermath of the Pandemic”
 - 「大沼保昭文庫」開設記念シンポジウム＜「人新世」時代をどう生きるか＞
4. 研究の具体的進展・成果
 - 以下の刊行物を公表するなど成果を示すことができたが、研究所 HP での情報発信の頻度とその内容についてさらなる改善が必要である。
 - ▶ セミナーやシンポジウムの内容を紀要で発表した（印刷物の送付及び HP での公開）
 - ▶ SUPRI Occasional Papers シリーズを新たに刊行し、大沼文庫開設記念シンポジウムの内容を出版した。
5. 学生の学習成果・成長の事例
 - 該当案件なし
6. 地域・社会連携、産学連携
 - 人間の安全保障研究センターのプロジェクトとして八王子における人間の安全保障指標調査を八王子市役所の協力を経て開始した。
7. 国際化への対応
 - 特段の課題なし

【2】2022年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

■ 研究所 HP の改善

＜中間報告までの達成目標＞

- 情報検索がしやすいページヘデザインを変更する

<最終報告までの達成目標>

- 情報検索がしやすいページデザインを変更する
- 研究所所員による論説を HP 上で公表する体制をつくる

【3】2022 年度の実組みの点検・評価と 2023 年度以降の方針

【2022 年度の実組みの点検】

<中間報告時点での目標達成状況>

研究所 HP デザインの変更案を策定した。

9 月以降、企画広報課とも連携して、変更作業を行う予定である。

<最終報告時点での目標達成状況>

- 研究所 HP の更新を進め、平和講座開催情報などを発信できたが、引き続きページデザインを開戦する作業を進行中である。
- 研究所所員の論説投稿のシステムを引き続き構築中である。

【今後の課題および 2023 年度以降の方針】

研究所所員および新センターの研究活動の成果を効果的に発信するために研究所 HP の改善をさらに進める必要がある。HP の新たなデザインについては概ね決定しているので、今後は HP の運営人員を強化するなど、さらに情報発信強化を進めていく。